

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】南阿蘇村バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
1	2005.2.10	21	2007.9.27	熊本県	南阿蘇村	12,254	137.3
構想の要約		(平成17年2月に白水村、長陽村及び久木野村が合併後、白水村のバイオマスタウン構想を見直し南阿蘇村として公表)間伐材や製材端材等のペレット・チップ化を推進するとともに、家畜排せつ物等をガス化して発電を行い、売電や地域内の施設の熱源に利用する。また、草本系バイオマスのエネルギー変換を検討し、豊かな自然と共生する環境のむらづくりを目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①木質系バイオマス チップ、ペレットの利活用検討 ②優良堆肥製造 ③なたね・廃食用油のBDF化 ④草資源の利活用 ⑤地域バイオマスの有効活用(水素等ガス化計画) ⑥地域バイオマスの有効活用(メタン発酵計画)					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物		間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他( 野草 )	○		
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など					
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	○
その他( )		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標 (バイオマスタウン構想書からコピー)

### 利活用目標

#### ○ 廃棄物系バイオマスの利用率・・・80%以上

本村で発生する廃棄物系のバイオマスの利活用促進を図るためには、現在、53,103tの内、23,354tの利用に留まっている家畜排せつ物の有効活用を図ることが肝要である。そのためには、水素ガス化生成等の利活用を積極的に推進し、優良堆肥化と併せて32,000t以上の利用量を目標に設定し、利用率のアップを図る。また、製材所等の残材については、現在、おが粉とチップが利用されているが、将来、バイオマスの利活用促進を図るためにはバークを含め約7,000t以上の利用を目指すこととする。以上のような利活用を推進することで、利用率を80%以上と設定する。

#### ○ 未利用系バイオマスの利用率・・・40%以上

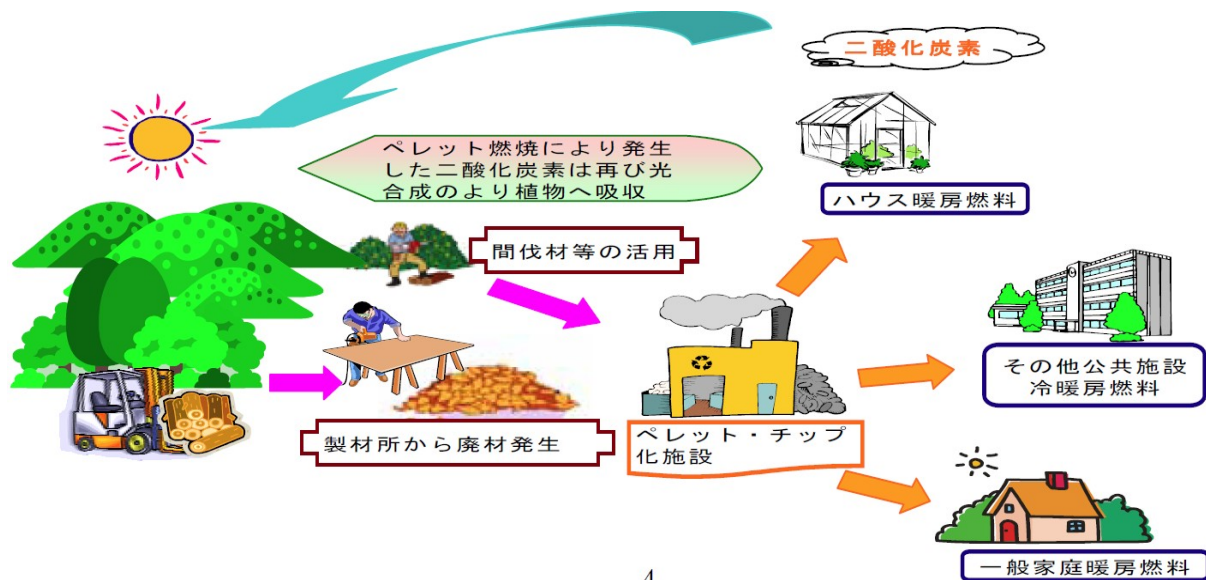
本村の自然資源である未利用系のバイオマスの利活用促進を図るためには、林地残材、間伐材をいかに有効に活用するかが肝要である。現在、その仕向量全量が販売のみで、有効利用がされていない。今後、阿蘇森林組合とバイオマスとしての活用について協議を重ね、切捨て、土場残材については、チップ(ペレット)化を図り、需要量とバイオマスの賦存量を考慮しながら製造・利活用システムの構築を図る。また、水素ガス化の原料としても活用を図り、将来的には12,000t以上の利活用を目指すこととする。

野草の活用については、NPO法人九州バイオマスフォーラム、その他関係者(団体)等とその有効活用について研究し、家畜の飼料、堆肥化及び建築資材への活用や可燃ガス化によるエネルギーシステムの構築を目指し、現在の140tから700t超の利用を設定する。その他、稲わら、もみがらは、畜産敷材や堆肥化、水素ガス化の原材料として5,000tを目標設定し、利用率の目標を40%以上と設定する。

# バイオマスタウン構想概要図

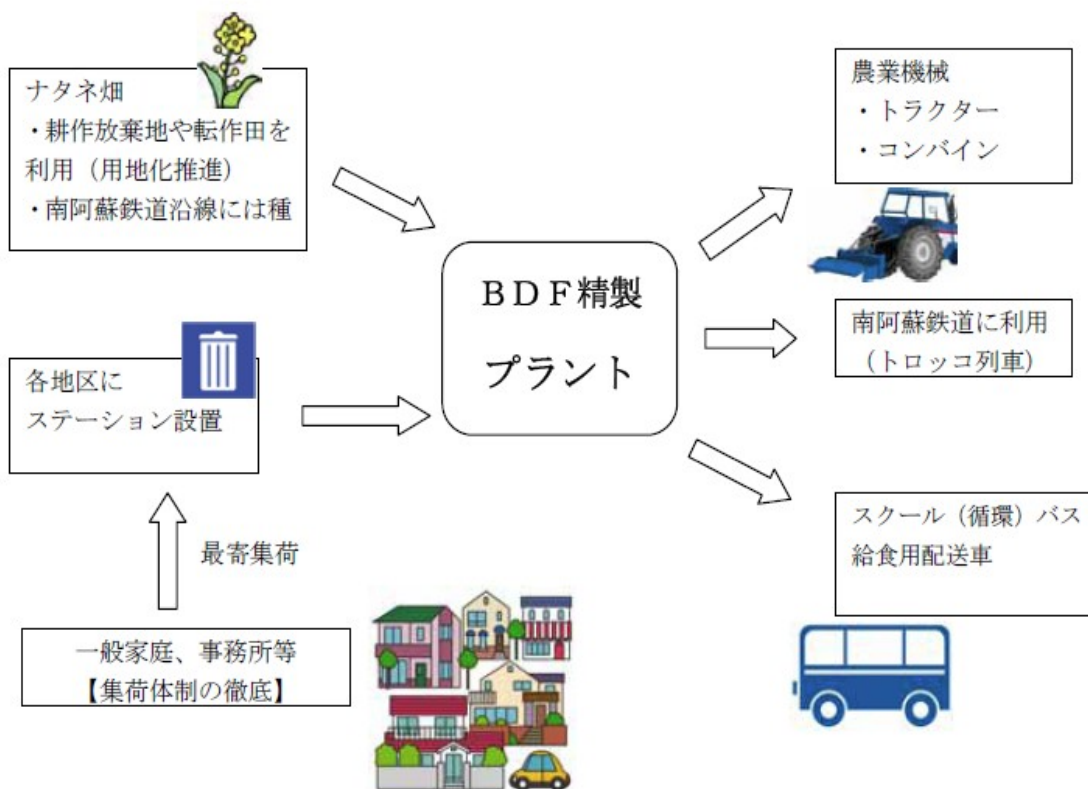
(バイオマスタウン構想書からコピー)

## 木質系バイオマスの利活用



4

## ◎なたね油・廃食油のBDF化推進フロー



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

	添付別紙(パンフレット等)参照 (事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)
事業の概要	